

皮膚科研修プログラム

一般目標(GIO: general Instructional Objectives)

皮膚科は、内科的側面と外科的側面を併せ持つ幅広い疾患を取り扱う診療科である。皮膚疾患の多様性について理解し、それぞれの重症度を評価することを目標とする。あわせて、縫合をはじめとした外科的な技術や適切な創処置の技術を習得することも目標とする。

行動目標(SBOs: Specific Behavioral Objectives)

1. 十分な病歴聴取と診療録記載ができる (技能)。
2. 発疹 (皮疹・粘膜疹) の正確な記載ができる (知識)。
3. 真菌検査や細胞診を実施・評価できる (技能・知識)。
4. 病理組織を解釈できる (知識)。
5. 基本的な手技 (局所麻酔、生検、切開、縫合、創処置) を行うことができる (技能)。
6. それぞれの皮膚疾患について、治療計画を立てることができる (知識)。
7. 入院患者においては、皮膚疾患以外の合併症についても評価できる (知識)。
8. 患者および家族と適切な態度で接することができる (態度)。
9. コメディカルスタッフに感謝の気持ちを持って接することができる (態度)。

研修方略(LS: Learning Strategies)

1. 外来・病棟業務
指導医・上級医とともに外来・病棟業務に携わり、知識や技能を習得する。
主治医の一人として、入院患者および家族との信頼関係を築く。
2. カンファレンス、勉強会
毎週木曜日のカンファレンスに参加し、症例の検討や病理組織の評価を行う。
また、学会や研究会などに積極的に参加し、疾患についての知識を深める。

研修評価(EV: Evaluation)

EPOC による評価を行う。